

札幌市で医療関連産業の集積に向けた取組が始動しました



広告

2017年11～12月、医療関連産業の集積に向けて議論する産学官連携フォーラムが、2度にわたって札幌で開催された。

「MeCCS 構想」

札幌商工会議所の取りまとめによる「さっぽろ成長戦略」の目玉が、Medical Cluster City Sapporo(MeCCS)構想。札幌の誇る最先端医療を核にしなが、食・観光・ITなどを組み合わせ、新たな産業集積(ネットワーク)の実現を目指す内容だ。

この構想の検討をリードした札幌商工会議所 さっぽろ成長



壇八義博委員長

戦略推進特別委員会の壇八義博委員長(北海道銀行代表取締役会長)は、「素晴らしい医療資源と様々な産業が結びつくようチャレンジしたい」と意気込む。MeCCS構想を具体化するため、札幌商工会議所に設けられたのが、北海道大学、札幌医科大学、札幌市などが参画する「産学官医療連携協議会」。



島本和明総長

座長を務める日本医療大学の島本和明総長(札幌医科大学 前学長)は、「実現に

向けて課題の解決や提言活動を進めていきたい」との考えだ。

先端的な取組が進む 北海道大学

北海道大学病院の寶金清博病院長は、がんゲノム医療、先端的IT技術の医療応用、国際医療、スポーツ医療といった、産業につながる様々な取組を紹介。「札幌では2つの大学病院が協力関係にありますし、民間病院とも連携できているので、製薬・治験・検査などの企業にとって、効果的なデータ収集が可能で



寶金清博病院長

す。一方、北海道内の多くの地域では医療過疎が進んでいます。だからこそ、IT企業が遠隔医療やAI診断などの新しい技術を開発・実証する最適な場となります。こうした技術は、医療過疎を課題とする海外にも売り込んでいくこともできます。」

「札幌は、国内外から人を呼び込める魅力的な都市です。安心して医療を受けられる体制が充実すれば、より多くの人

札幌を訪れるでしょう。また、様々なプロスポーツチームが地域に根付いていますし、ウィンタースポーツに親しむ環境もありますので、運動を切り口とした新しい産学連携の実現が期待できると考えています」と、札幌の大きな可能性を語る。

産業集積に向けた 札幌の可能性

フォーラムのコーディネーターを務めた日経BP社の宮田満特命編集委員は、「札幌は



宮田満氏

吸引力を持つ街で、美味しい食や、サッポロバレーと言われたIT産業もある。実用化目前の札幌医科大学の画期的な再生医療に、いっそうの地域支援が加われば、産業集積につながってイノベーションの連鎖が始まる」と期待する。

札幌市の町田隆敏副市長は、「札幌は人同士のネットワークが密接で、企業の新しい挑戦を皆で応援する街。おもしろい取組を積極的に進めたい」と意欲を語った。



町田隆敏副市長

フォーラムは2018年度も開催予定。



札幌市 BUSINESS DATA

企業等が参画する
さまざまなネットワーク

ヘルスケア

「北海道ヘルスケア産業振興協議会」※1

医療機器

「北海道医療機器関連産業ネットワーク」※2

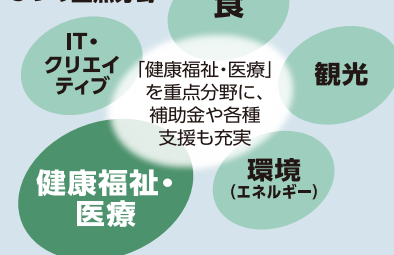
IT・先端技術

「札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム」※3
「Sapporo AI Lab」※3



札幌市の産業振興

5つの重点分野



立地企業への支援も充実しています。

⇒詳しくは
企業立地ホームページへ

札幌市企業進出総合ナビ 検索
<http://www.2.city.sapporo.jp/invest/>



この記事の問い合わせ先

MeCCS構想について

・札幌商工会議所 TEL.011-231-1360

フォーラムについて

・札幌市役所 食・健康医療産業担当課 TEL.011-211-2392

事務局 ※1) 株式会社北海道二十一世紀総合研究所
※2) 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
※3) 一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市